

みどりの図書館フェスタ大盛況！皆様ありがとうございました！！

11月3日（木）に秋の読書週間記念行事である「みどりの図書館フェスタ」を行いました。その様子を写真とともにお届けします！

【オープニング】



宮崎市立小松台小学校の合唱部による素晴らしい合唱で幕を明けたオープニング。秋にぴったりな4曲を披露していただきましたが、どれも素晴らしい歌声で心揺さぶられるものばかり・・・。

閲覧室に向かわれるお客様も足をとめ、じっと聞き入る様子に、改めて「歌の力」の凄さを感じました。

続いては「一日司書体験」の児童・生徒さん達に委嘱状の授与。フェスタの一日を支えてくれる意気込みをステージで発表しました。

このオープニングには、100名以上も参加していただき、いつにない盛り上がりでした。

【紙芝居】



続いては、「紙芝居」。「紙芝居おじさ〜ん」の呼び声で昔懐かしい「紙芝居自転車」を押して、麦わら帽子をかぶった紙芝居おじさん（実は図書館の職員！）が入場。

『ちょうふく山のやまんば』『あき寺のばけもの』という二つのお話を読み、それぞれの登場人物にあわせて声色を変えて子ども達に語りかけ、ちょっとしたクイズもあり、会場を盛り上げました。昔の紙芝居は最後に水飴を配ったそうですが、残念ながら会場は飲食禁止なので、代わりに風船を配りました。

【クイズラリー】



ステージ以外の場所でも参加型イベントが行われました。郷土資料室の資料を調べながらクイズに挑戦する「クイズラリー」。素敵な押し花を利用して自分だけのしおりを作る「オリジナルしおり作り」。（県の薬草・地域作物センターの職員さんにご協力いただきました。）どちらも最後は賞品も押し花も無くなってしまったほどの大盛況でした。

【オリジナルしおり作り】



【荒井さんとおくる読み聞かせのススメ】



NHKアナウンサー荒井匡氏をお招きし、家庭での読み聞かせやアニメーションについて紹介しました。

初めは絵本『月夜のくじら』を荒井さんに読んでいただいた後、内容についてのクイズをしました。

小さなお子様も内容をよく覚えていることにびっくり！次は『よかったね！ネッドくん』の絵本を読みながらみんなでかけ声をかけあいました。会場に響く「なんてこった！」「そいつは良かった！」の声に大人の方も笑ってくださっていたのが印象的でした。

【手品&バルーンアート】



ボランティアの方々による手品とバルーンアートです。「マルモリ」のダンスで始まりましたが、その時点で子ども達はノリノリ！さらに、巧みな手つきで生まれる風船の動物や消えていくコーラの手品に子ども達の目は釘付けです。

最後に子ども達にも細長い風船が1本ずつ渡され、実際に一緒に作りましたが、左の写真のようにステージ付近は満杯状態！！大盛り上がりでした。ボランティアの方々、本当にありがとうございました。